

～ ハチについて知っておこう！ ～

暖かくなり、あちらこちらでハチを見かけるようになりました。ハチは、草木の害虫である蝶や蛾の幼虫などの昆虫を捕食したり、植物の受粉の手助けをするなど、自然界のバランスを保つうえで重要な働きをしている昆虫です。最近では、人間が暮らしている場所に巣を作るなどハチと人間が接することが多くなってきたため、刺されるというトラブルも起こっています。しかし、スズメバチ以外は、本来攻撃性は少なくおとなしい昆虫であるため、ハチの種類と特徴を理解し、できる限りそのままにしてあげましょう。

【スズメバチ】 スズメバチは、ハチのなかでもおおむね20～40mmと最も大きく、巣に近寄るだけで、攻撃を仕掛けてくることがあります。スズメバチは、4月ごろから11月にかけて、きれいなマーブル模様の丸い巣を作ります。冬になると新女王バチ以外はすべて死んでしまい、新女王バチが土中や朽木などで越冬します。巣は1年で使い捨てられ残った巣は、翌年に利用されることはありません。（雄には針がありません。）



スズメバチの雄(兵庫県立人と自然博物館提供)

【ミツバチ】 ミツバチは、12mm前後と小さく、春になると古い巣は新女王バチが引きつぎ、女王バチと働きバチの一部が新しい巣を作るために巣分かれ(分封)します。木の枝などに女王バチを中心として働きバチが塊となり、新しい巣を作るのに条件のよい場所を探す行動をとります。よい場所が見つかるまで数時間から数日の間、同じ場所に群れます。分封の間は攻撃性がないため、そのままにしておきましょう。ミツバチはむやみに人を攻撃してくることはありません。



ミツバチ(兵庫県立人と自然博物館提供)



セグロアシナガバチ

(兵庫県立人と自然博物館提供)

【アシナガバチ】 アシナガバチは、おおむね15～25mmであり、4月ごろから家の軒下や樹木の枝に巣を作り、巣はシャワーヘッドのような形をしています。女王バチ以外は越冬できず、巣は1年限りで使い捨てられます。巣を刺激しなければ、襲ってくることはありません。人の手が届かないところの巣は、できる限りそのままにしておきましょう。

【ハチの巣】 スズメバチは、巣に近寄るだけで、攻撃を仕掛けてくることがあります。ミツバチはむやみに人を攻撃してくることはありませんが、働きバチが大群となっている場合も多く見られます。駆除が必要な場合は、専門駆除業者(有料)に依頼しましょう。

アシナガバチについては、大群で多数の人を襲う危険性がなく、また、駆除を行う場合は比較的容易に駆除を行えます。

巣を作られないようにするには・・・ 4月ごろから定期的に目視でチェックしましょう。早期であれば駆除も簡単です。風通しを良くするため、庭木などは定期的に剪定し、庭は、整理整頓をして置きっぱなしのものをなくしましょう。屋根裏や壁の間に巣を作ることがあります。通気口には目の細かいネットを取り付け、亀裂・隙間などは補修しておきましょう。

刺されないようにするには・・・ 巣を見つけたら、近づかないようにしましょう。むやみにハチの巣を刺激しないようにしましょう。庭木の剪定の際にハチの巣がないか注意しましょう。天日干しの洗濯物にハチが紛れ込む場合があるので、取り入れの際には注意しましょう。山に入るときは、帽子を着用し、できるだけ白い服装にしましょう。

アシナガバチの巣は自分でも駆除できます・・・

(1) ハチは暗くなると巣に戻り、活動が鈍るため、夜に駆除作業を行います。(懐中電灯を使用する場合には、巣に光を直接当てないようにしましょう。)

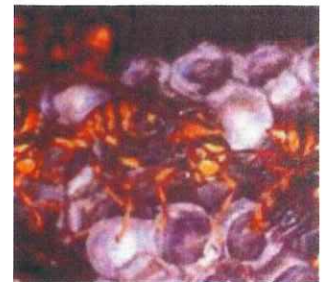
(2) 駆除の際には、長袖、長ズボン、軍手、帽子を着用し、なるべく体の露出をなくします。

(3) 市販の殺虫剤(ハチ用ではなくても、ゴキブリ用や蚊、ハエ用でも可能)をハチの巣めがけて、風上から一気に噴射します。

(4) すべてのハチが落ちて死んだことを確認した後、ハチの巣を棒で落とします。

(5) ハチ及び巣は素手で触れずに、ビニール袋に集めてごみとして捨てます。

◆ 危険と感じた時は、駆除をやめ、専門駆除業者(有料)に依頼しましょう。



キアシナガバチの巣

(兵庫県立人と自然博物館提供)

～ ハチに刺された時の応急処置 ～

(1) 傷口から毒を強くしぼり出しましょう(ミツバチに刺された場合には、針が残っているので抜きましょう)。

(2) 傷口を流水で洗いましょう。

(3) 刺されたところが、かゆみや発赤など炎症を起こしている場合は、ジフェンヒドラミンなどの抗ヒスタミン薬が配合された軟膏を塗るとよいでしょう(アンモニア水やオシッコは効きません)。

(4) 傷口を氷などで冷やしましょう。

※ 症状が改善しない場合は・・・ しばらく様子を見て、症状が改善しない場合、又は、次のような場合は、すぐに医師の診察を受けましょう。

- ・アレルギー体質及びその恐れのある人
- ・発疹、発熱、めまい、動悸、呼吸困難、全身むくみ、吐き気などの症状がある場合
- ・刺された部位が数箇所ある場合
- ・目に毒が入った場合

ハチの巣の駆除専門事業者の紹介(有料)

一般社団法人 ペストコントロール協会

☎0120-76-2633

【お問い合わせ】

川西市 美化衛生部 衛生管理課

〒666-0152 川西市丸山台3丁目43番地

☎072-744-2500